

こいた 小板まきばの里通信 Vol 11.2

～赤や青の木の实を探してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！

ズミ

アキチョウジ

マユミ

コマユミ

コバノ
ガマズミ

アラゲ
ナツハゼ

アキノ
キリンソウ

ママコノ
シリヌグイ

イヌタデ

シロヨメナ

サワフタギ
(ルリミノウシゴロシ)

ヨメナ

カンボク

ノブドウ

■里山の自然観察 ～赤や青の木の实を探してみよう～

10月、最低気温が8度を下回ると紅葉が一気に進みだし、3週間程で紅葉のピークを迎えます。いろいろな木の实も鳥たちの目をひこうと鮮やかな色に色づきます。赤い実の代表は、どっさり実をつけるカンボク。下向きにぶら下がった赤やピンクの実の中からオレンジの種が飛び出すのはニシキギ科のマユミやコマユミです。ズミの赤い実はずぐには鳥に食べられず、冬の小鳥たちの大切な食料になるようです。青い実の代表はサワフタギ。ノブドウの実は青や紫等いろいろな色になってきれいです。その実はヤマブドウと違ってまずくて食べられません。食べられるのはブルーベリーと同じツツジ科スノキ属のアラゲナツハゼの実。「酔の木」属というだけあって酸っぱい味です。そのうち鳥たちに食べられてしまう赤や青の木の实を探してみましょ。